



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年1月30日

上場会社名 日糧製パン株式会社 上場取引所 札
 コード番号 2218 URL <http://www.nichiryo-pan.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 勝彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 北川 由香里 (TEL) 011-851-8188
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	13,340	1.3	117	△42.6	127	△40.0	114	11.5
2019年3月期第3四半期	13,172	△0.9	205	2.5	212	△7.9	102	△4.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2020年3月期第3四半期	円 銭 54.81	円 銭 —
2019年3月期第3四半期	49.14	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2020年3月期第3四半期	百万円 15,130	百万円 4,657	% 30.8
2019年3月期	14,557	4,502	30.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 4,657百万円 2019年3月期 4,502百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2019年3月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 15.00	円 銭 15.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,800	2.3	150	48.4	150	42.1	80	354.9	38.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年3月期3Q	2,103,948株	2019年3月期	2,103,948株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2020年3月期3Q	10,248株	2019年3月期	9,945株
------------	---------	----------	--------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年3月期3Q	2,093,894株	2019年3月期3Q	2,094,068株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2020年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期貸借対照表	P. 4
(2) 四半期損益計算書	P. 6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(セグメント情報等)	P. 7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(2019年4月1日～2019年12月31日)におけるわが国の経済環境は、雇用・所得環境の改善もあり緩やかな回復基調が続きましたが、米中貿易摩擦の激化や消費税増税等により、先行き不透明な状況で推移し、個人消費も力強さを欠くものとなりました。北海道の経済環境は、観光客数の回復もあり一部持ち直しの動きがみられるものの、全体としては足踏み状態となっています。当業界におきましては、お客様の節約志向が続き販売競争が激化する中で、人手不足に伴う人件費や物流費などのコスト上昇に加え、原材料価格及びエネルギーコストの高止まりにより収益が圧迫される厳しい経営環境となりました。

このような情勢下におきまして、当社は「おいしく、北海道らしく。」の方針のもと、「日糧ベスト70」を中心に主力製品の品質向上を推進し、多様化するお客様のニーズに即した安全・安心でお客様に喜ばれる高品質な製品の提供に努めました。また、生産、販売、管理の各部門における業務の見直しや効率化を推し進め、継続して経営基盤の強化へ取り組んでまいりました。

製品別の売上状況につきましては、食パン部門は、「プレミアデニッシュ」シリーズが伸び悩み、前年同期を下回りましたが、主力の「絹艶」が試食販売やレシピ動画の活用などにより堅調に推移するとともに、新製品「The Takasui」の寄与もあり、10月以降食パン部門の売上は回復傾向となりました。菓子パン部門は、主力の「北の国のベーカリー」は、発売20周年を迎え一部製品をリニューアルして品質を訴求するとともに消費期限の延長を図り好調な売上となりました。またフィリングたっぷりのこっぺぱん「ずっしりこっぺ」シリーズや、ふんわりとした食感が特徴の「牛乳入りパン」シリーズの寄与もあり、菓子パン部門の売上は前年同期を上回りました。和菓子部門は、季節商品やまんじゅう類等が伸び悩み、前年同期を下回りましたが、ロングライフ製品の「べこ餅」などの和生類が伸長し、消費期限延長を図った串団子や発売30周年となる「チーズ蒸しパン」等の蒸しパン類が順調に推移し、11月以降和菓子部門の売上は回復傾向となりました。洋菓子部門は、タルトやマフィンなどのスナックケーキ類が好調に推移したほか、コンビニエンスストア向け製品の拡販により、前年同期の売上を上回りました。調理パン・米飯部門は、量販店向けの弁当や寿司、コンビニエンスストア向けのサンドイッチを積極的に拡販し、順調な売上となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績につきましては、売上高は13,340百万円(対前年同期比101.3%)となりました。一方、利益面におきましては、賃金相場の上昇や人手不足に伴う人件費や物流費の増加、エネルギーコスト、原材料費の上昇及びデリカ工場の減価償却費負担増もあり、営業利益は117百万円(対前年同期比57.4%)、経常利益は127百万円(対前年同期比60.0%)となりました。前期に北海道胆振東部地震の特別損失を計上したこともあり、四半期純利益は114百万円(対前年同期比111.5%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における資産合計は15,130百万円で前事業年度末に対し572百万円増加しました。流動資産は5,016百万円で主に現金及び預金が418百万円、売掛金が107百万円増加した結果、前事業年度末に対し508百万円増加しました。固定資産は10,113百万円で主に投資その他の資産のうち投資有価証券が107百万円増加し、繰延税金資産が44百万円減少した結果、前事業年度末に対し63百万円の増加となりました。負債合計は10,473百万円で主に支払手形及び買掛金が187百万円、長期借入金(1年内返済予定含む)が89百万円増加した結果、前事業年度末に対し417百万円増加しました。純資産合計は4,657百万円で主に利益剰余金が83百万円、その他有価証券評価差額金が72百万円増加した結果、前事業年度末に対し155百万円増加しました。

この結果、当第3四半期会計期間末における自己資本比率は30.8%、1株当たりの純資産は2,224円46銭となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しといたしましては、わが国経済は、昨年10月の消費税率引上げの影響により、お客様の節約意識が高まることが予測されます。当業界におきましては、人手不足に伴う人件費・物流コストの増加やエネルギーコストの高止まりにより経営状況は厳しさを増すものと思われまます。

このような情勢下におきまして、当社は、引き続き「おいしく、北海道らしく。」の方針のもと、「日糧ベスト70」を中心とする主力製品の品質の向上と消費期限の見直しを進め、多様化するニーズに即した付加価値の高い製品を提供し、新しい価値と新しい需要の創造に努めてまいります。また、アイテム数を適正にコントロールし、効果的な販売促進による売上向上に取り組んでまいります。パン・菓子部門におきましては、付加価値を高めた製品、北海道産原料を活用した製品、ロングライフ製品やチルド製品等、魅力ある製品を積極的に開発し、売上拡大に向けて情報発信を強化し、未取引の販売先や新たなチャネル・市場の開拓、売場提案を進めてまいります。調理パン・米飯類におきましては、高品質な製品の効率的な生産に努めるとともに、拡大が見込まれる中食需要に応える製品群を開発し、売上向上をめざしてまいります。今後とも生産・販売が一体となり、小委員会活動を通して経営課題を把握し、スピードを上げて市場動向に即応した製品施策と営業戦略を展開し、売上確保・収益改善に向けた取り組みを推進してまいります。また、省人・省力化設備の導入やエネルギー使用量の削減及び配送ルート見直しによる配送効率の改善など、全社を挙げて業務効率化を推し進めてコスト削減に努め、山積する経営課題に着実に対処し収益体質の抜本的な改善をはかってまいります。

なお、2020年3月期通期に関する業績予想につきましては、2019年11月5日に公表した内容から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,723,040	2,141,172
受取手形及び売掛金	2,400,213	2,507,396
商品及び製品	42,124	19,334
仕掛品	22,874	21,167
原材料及び貯蔵品	193,704	272,297
その他	126,544	55,541
貸倒引当金	△490	△254
流動資産合計	4,508,010	5,016,655
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,670,928	2,591,866
機械及び装置(純額)	1,597,467	1,665,036
土地	4,662,405	4,662,405
その他(純額)	239,008	262,325
有形固定資産合計	9,169,810	9,181,633
無形固定資産		
その他	61,933	54,443
無形固定資産合計	61,933	54,443
投資その他の資産		
投資有価証券	536,338	643,823
投資不動産(純額)	66,480	55,177
繰延税金資産	172,092	127,933
その他	43,969	51,561
貸倒引当金	△720	△726
投資その他の資産合計	818,161	877,770
固定資産合計	10,049,904	10,113,846
資産合計	14,557,915	15,130,502

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,025,269	2,213,028
短期借入金	750,000	750,000
1年内返済予定の長期借入金	811,112	843,436
未払法人税等	33,781	133
賞与引当金	176,682	90,403
その他	1,030,789	1,322,450
流動負債合計	4,827,634	5,219,451
固定負債		
長期借入金	2,362,148	2,419,546
再評価に係る繰延税金負債	1,190,579	1,190,579
退職給付引当金	1,601,275	1,562,962
役員退職慰労引当金	69,516	73,361
その他	4,430	7,240
固定負債合計	5,227,949	5,253,688
負債合計	10,055,583	10,473,140
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,051,974	1,051,974
利益剰余金	588,898	672,263
自己株式	△13,332	△13,941
株主資本合計	1,627,539	1,710,296
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	180,451	252,724
土地再評価差額金	2,694,340	2,694,340
評価・換算差額等合計	2,874,791	2,947,065
純資産合計	4,502,331	4,657,362
負債純資産合計	14,557,915	15,130,502

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	13,172,979	13,340,255
売上原価	9,402,644	9,612,444
売上総利益	3,770,334	3,727,810
販売費及び一般管理費		
販売費	2,947,123	3,027,690
一般管理費	617,832	582,198
販売費及び一般管理費合計	3,564,955	3,609,888
営業利益	205,379	117,921
営業外収益		
受取利息	10	8
受取配当金	14,576	14,741
受取賃貸料	8,358	8,072
受取保険金	3,129	5,173
その他	5,980	6,023
営業外収益合計	32,056	34,018
営業外費用		
支払利息	25,078	24,537
その他	53	0
営業外費用合計	25,132	24,538
経常利益	212,304	127,402
特別利益		
固定資産売却益	1,240	14,835
特別利益合計	1,240	14,835
特別損失		
固定資産売却損	-	1,131
固定資産除却損	12,030	4,106
投資有価証券評価損	-	1,441
減損損失	29	22
災害による損失	33,572	-
特別損失合計	45,632	6,702
税引前四半期純利益	167,912	135,535
法人税等	65,000	20,760
四半期純利益	102,912	114,775

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、食品関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。